

明治八年

(二月)

明治八年一月一日 晴天。

元旦御祝義も、するく相済候也。

*祝義(祝儀)

(二月) 二日 晴。

同様、御祝御済候也。

(二月) 三日

(コノ日、記事ナシ)

(二月) 四日

(コノ日、記事ナシ)

(二月) 五日 発会ニテ晴天。

午後、百参集。生徒一統来。宗奥方、万里浄心院さま、千よ姫さま、芳丸さま、綾小路有長様、其外手伝人も大せい来り候。実に美々敷事也。夕六時頃、生徒皆帰り、五十稽古人残り、夜二時迄三弦歌舞大はつみ也。此夜、桐淵三人、長子一宿。

*大はつみ(大弾み)

(二月) 六日 晴。

客人滞留。石山家菊姫さま御出。山田氏来。又此夜も二時迄大サワキ也。

*大サワキ(大騒ぎ)

(二月) 七日 晴。

此日、桐淵三人帰られ候也。

(二月八日) 一月三十日、日記ナシ。一丁分欠落カ)

(二月) 三十一日

花蹊、門人方え年ニ行。

*年(年礼)

(二月)

二月一日 晴。初午也。本日大風。

花蹊始メ門人方え年礼ニ行。細川ヨリ誘れ、島原へ行、終日相樂しみ、夜十時帰殿。此帰りか
け、京橋西川え寄。

(二月二日) 四日、日記ナシ)

(二月) 五日

三十軒堀三村清左衛門家内ちか女、稽古ニ来り候。

*三十軒堀(三十間堀)

(二月) 六日 晴。

此日も門人方え年礼ニ行。此日、石山家初年ニテ客招れ、よし姫さま、父さま、千よさま、私
行。外来客も有之。夜二時、帰殿ス。

*初年(初午)

(二月七日) 九日、日記ナシ)

(二月) 十日 晴。

画稽古日ニテ一統来、終日也。大岸常盤入門ス。

(二月十一日〜十三日、日記ナシ)

(二月) 十五日 晴。

長子、此日ヨリ止塾致され候。画の稽古日ニテ一統来、終日也。

*十五日(ママ)

(二月) 十四日 晴。

此日、独乙殿様ヨリ御報知有。大写真挟、御金入、襟巻、御状着いたし候也。

(二月) 十五日 晴。

此日、独乙え御便りいたし候。万里さまえ相頼み候筆、墨、介紙、錦画、写真、夾松魚、袖おとし、扇子差上候也。

*介紙(懐紙)

(二月) 十六日

此日、下谷辺え年礼ニ行候つもりニテ、花山連テ小川町土屋辺迄行候処、大風ニテ引帰り候。実におそろしき風也。高坂元長来。

(二月) 十七日 晴。

午後二時より万里家え稽古ニ行、本多家えも行、帰り、石山家え行、十時帰殿ス。

(二月) 十八日 晴。

万里通房様御出、独乙行包箱書状あしく候て、別段に新文書状ハ別出ト仰せられ候也。十九日、島原え誘せられ候。

(二月) 十九日 晴。

七時より、よし姫さま、千よさま、花蹊、人力ニテ島原え行。通房さま、素心さま、恵之助、

小西辰、西名、外二たき、またよね也。終日相楽しみ候。帰り十時也。此時、石山さま三人、外風早、冷泉さまも御出也。此日、是安来り候。

(二月) 二十日 晴。

稽古日。風早、桐渕三人、山田、三村来られ候也。

(二月) 二十一日

大雪、一尺計積候也。終日雪降り通し、舞風ニテ実に見事也。

(二月) 二十二日 晴。

此日、雪止。朝、平田可道来。中島哥子会、昨廿一日の処、大風雪ニテ中々来人もなく候故、三月一日改発会いたし候よし頼みに来り候。

(二月) 廿三日 晴。

此日、蒲生来。こう女来。住吉重威え郵便ニテ報知。三条家え郵便出ス。万里通房様画頼みニ御出也。

(二月) 廿四日 晴。

終日画。細川絹布也。芝扇明亭来。芝崎香石、五月十六日発会頼来り候。此夜八時、外務省ヨリ御用状一通来。

(二月) 廿五日 晴。

井上八十吉来。扇明亭、寛山両人会頼みに来り候。此日、稽古日ニテ風早、桐渕三人、三村、山田来、終日也。正親町清野さま、御迎ひに御出ニテ両方御帰り也。銀座島屋より使来。

(二月) 廿六日 晴。

此日、独乙殿様御報知、清水谷さまより御使ニテ落手候。午十二時より父さまト同道ニテ車行、八丁堀香川え行、暫して高林二峰発会ニ行。此時、展観物玉盤紙水墨四君子持参ス。盛会也。此隣家大坂府貫属士族永岡支芳之妻ニ逢。御女元浪花唐津屋敷の足軽ニテ、花蹊近所ニテ元よ

り馴染也。実は大悦ニ御坐候也。暫旧時之咄し致し候。夫より桂川へ行。主人在宿ニテ暫咄して帰り候。宅ノ様子、実に茶の有家作りニテ、暫ク得静心候也。夫ヨリ築地光田四郎へ行。此日、独逸殿様より御報知有之候テ、光田四郎大病ニテ逆も養生不相叶哉とひとく御安し遊し、夫故直々逢テ、御滞留世話ニ御成遊し候礼を申てくれとテ御書状光田行も持参いたし候処、前所ニハ居られず、何国えか転宅致され候様申居り候。近辺処々尋問いたし候得とも、とんとノ不相分、夫ヨリ福田え愛治郎に鑿穿致させ候つもり処、あやにく愛治郎も居り不申、頼置帰り候。此夜、裏松千よ姫様、よし姫さま御所勞御見舞ニ成らせられ候、十時迄。

*御安し(御案じ) *鑿穿(穿鑿)

(二月) 廿七日 雪。

此日、愛治郎来。昨夜早々、万里通房様え出、御拝面ニテ光田ヲ尋候処、駿河台鈴木町五番地ニ居られ候よしニテ、早速御状持参いたし候処、光田は大病中ながら、いまた存命也。しかし不逢シテ帰り候。此日、西四辻家家令、外ニ画工来り候。此日、玉女宿え返し候由申渡し候。

(二月) 廿八日 晴。

此日、終日画。玉女宿え下り候。

(三月)

三月一日 晴。

飯尾包敬来。子供兩人迎帰り候。福田てる女、子供兩人連帰り候。二合半坂三浦氏家内来。板倉家息女、通学頼みに来り候。細川政子来、絹地嵐山画相渡し候。手塚、田中松塙来。長谷川久徴来。増山、万里小路通房様御出。千よ姫様も御出ニテ御酒出、夕八時迄。井幸来。山田使来。此日、中島哥子発会ニテ父さま行れ候テ帰殿、又千尋え行れ候。此夜、千よ滝病氣ニテ困り候。

(三月) 二日 タヨリ夜通し雨。

半日画。高橋壬女来。かね女入塾願候故、かね此日より塾入ス。井幸来。山田時章、長谷川久

徴、伊藤介夫来。万里小路修様、画頼みに御出也。

(三月) 三日 晴、暖気。

半日揮毫。父さま、唐紙買二行れ候。此夕ヨリ長子来、中居理代奉公ニ来ル。井幸来。花蹊同道ニテ石山家へ行。十二時迄。此時、石山さま、千よ滝事種々仰せられ、大困りくも也。

(三月) 四日 晴。

板倉信女入門致され候。花山光子帰塾ス。政治郎来。山形友治郎帰塾ス。

(三月) 五日 晴。

稽古日。風早、桐淵三人、三村ちか、山田とみ来、終日也。此日、寅之助店え奉公ニ来ル。此日、万里さま御使来、独乙行文願候。久保来。

(三月) 六日 晴。

休暇。此日、終日揮毫。山内豊誠さまより御頼之画也。飯尾両人帰塾スル。祖母来。正親町様御浜さま御出也。長子帰宅ス。

(三月) 七日 晴、暖気。

半日教授ス。半日揮毫ス。此日、中山さまヨリ使来。大和錦御袴参り候。八丁堀高林会の礼ニ来り候。板倉信さま通学始り候。此朝、長子来。夕、亦帰宅也。夕、井幸来。此日、愛治郎帰殿ス。

*教授(教授)

(三月) 八日 雨。

朝ヨリ教授ス。昼後、揮毫ス。井幸来ル。

(三月) 九日 晴。

半日教授。午後二字ヨリ万里家え稽古二行、帰り石山家へ行、夜十時帰殿ス。石山さま、是迄ノ事段々大あやまりニテ、先々中直りの芝居行誘れ候也。此朝、山の内家ヨリ頼みノ襖八枚、

綾小路さまえ差出し候也。

(三月) 十日 晴。

稽古日ニテ風早、桐渕、細川来。三十軒堀三村清左衛門入門ス。此日、外務省ヨリ絹地来ル。終日稽古ス。此日、玄関普請建築落製、昼ハイリ候。山田来。

*三十軒堀(三十間堀) *ハイリ(入り)

(三月) 十一日 晴。

此日、浜町え石山様御誘ニテ父さま、千よ滝、花蹊行。一ノ谷二葉軍記、関取二代勝負附、夕五時果ル。此日、中島茂州画頼みに来り候。此夕十二時前、出火。此日、西京蓮さまより報知有。

*二葉(嫩)

(三月) 十二日 雨、午後晴。

朝ヨリ昼迄教授ス。午後、揮毫。此日、良子様、父さま御供ニテ千尋え成らせられ候。綾小路家熊谷来。長姫様、画入門頼来り候。

*教授(教授)

(三月) 十三日

生徒教授ス。此日、蒲生来。新立六畳始メ釜懸ル。

*教授(教授)

(三月) 十四日

生徒教授ス。中御門家令大野、久保、画頼みに来り候。此時、山田時章来。此夜十時、三条家より人来。此日午後七時、電信機ニテ清泰院殿御急病のよし申来り候。夫より父さま早速三条家へ行れ、万事相談致され候。

*教授(教授)

(三月) 十五日 晴。

朝、三条家より西京清さま当月五日より御病氣ニテ日々之御容体、新宮良介より差越候。十日
出書状着ニテ申来り候。早々父さま又三条家へ行。此日、諏訪さま来られ候。六畳ニテ薄茶出
候。稽古、風早、細川、山田、三村来り候。

(三月) 十六日 雨。

朝、三条家より呼に來、父さま行れ候。朝、諏訪さま、原田來、又薄茶出す。此日、西京ヨリ
清さまセイゴシキヤウのよし、電報有之候。午後五時頃也。此夜、石山、沢家え知らせ候。
*セイゴ(正午) *ゴシキヤウ(御死去)

(三月) 十七日 晴。

朝六時出立ニテ、父さま西京え発足致され候。此日、大風吹、終日也。きたゆき女來ル。此朝、
御一族御親族、切紙ニテ御しらせ申入候也。夫より此朝、三条家え千よさま万事うかゝひニ上
り候。三条家さまいまた御届ニ不相成、只御所勞ニテ御引籠遊し候。しかし、こなた、もはや
石山さまの御サシズニテ風聴の跡ニテ、いたし方なく候。

*サシズ(指図)

(三月) 十八日 晴。

此朝、三条さま御届御出遊し候よし申参り候。夫ヨリこなたも東京府え差出し候。木城花の來
此日、典より十四日出書状着致し候。

(三月) 十九日 小雨。

生徒教授ス。

*教授(教授)

(三月) 二十日 晴。

朝八時ヨリ十二時迄生徒教授ス。沢藤子、御見舞ニ来られ候也。山田富女、三村ちか女來り候。
*教授(教授)

(三月) 二十一日 晴。

放業。此日、渡辺重石丸、伊津太郎同道ニテ来られ候。かねの母親も来り候。此日、長子帰宅。夕方、幸女同道ニテ帰塾致され候。

(三月) 二十二日 小雨。

半日**教授**ス。半日揮毫。

***教授**(**教授**)

(三月) 二十三日 晴。

半日**教授**ス。昼時ヨリ花蹊、長子、幸女、三人連ニテ浅草須賀町井生村楼義太夫和合連会集ニ付行。三村清左衛門両親、**三谷**藤浪家も居られ候。**水戸橋**秋庭さまも御めにかゝり候。八子も居り候也。夜九時二果ル。十時、帰殿ス。

***教授**(**教授**) ***三谷**(**山谷**) ***水戸橋**(**水道橋**)

(三月) 廿四日 晴。

半日**教授**ス。夫ヨリ午後二時より万里さま**教授**ス。夫ヨリ**三十軒堀**三村へ行、**教授**ス。六時、帰殿ス。此日、住吉典ヨリ三月十四日出ニテ朝野新聞金子六円十銭着。

***教授**(**教授**) ***教授**(**教授**) ***三十軒堀**(**三十間堀**) ***教授**(**教授**)

(三月) 廿五日 晴。

半日**教授**ス。風早愛子、稽古ニ来られ候。三村清左衛門、書稽古ニ来り候。伴仲子、御忌中見舞に来り候。此日、始風早御引籠見舞ニ来り候。早々帰り候。此夜、山田時章来、十一時迄。
***教授**(**教授**)

(三月) 廿六日 曇。

此朝、京師父さまより文来、十七日当地出立ニテ廿一日午後七時西京八条殿町え御着致され候よし仰来り候。五日道中也。当年六十六歳ニテ真の壺人道中、実ニ若手者は**閉戸**也。香川景信来。渡辺楽之助来。此日、千よさま事独逸殿様より光田四郎病氣精々尋ね候て世話してくれ候様、仰越れ候まゝ駿河台光田へ行候へとも亦転宅致され候よし也。下谷病院西門前西洋作りの家え転し候也。夫より小河え見舞二行、亦山田え行れ候。此日より外務省画にかゝる。此日、

富蔵来ル。

*閉戸（閉口）

（三月） 廿七日 晴。

午後二時より万里さまえ稽古ニ行。此時、若殿さま方ニテ氏泰浄留理有之候故、可聞様ニ止られ候テ、水戸秋庭さま、千よ姫さまもあらせられ候て、八時頃二千よ姫さまト同車ニテ帰殿候也。

*浄留理（浄瑠璃）

（三月） 廿八日 曇。

此日、外務省画揮毫ス。蒲生来ル。

（三月） 廿九日

西京田中村蓮観院様ニテ父様より報知有。先々御無事の御様子申来り候。清泰院様神葬祭廿四日のよし御申越、御行例書等も来り候。

前駆	榊	稲波	小田	供物櫃	上御霊神主	入江	柳田	高津
					小栗栖元辰	御輿	白丁	机持
					下部老人	柳田	渡辺	前田
								机持

墓標 葬主 跡見撰斎
姉小路公義御名代

三条家御名代	沢藤子御名代	石山基文御名代	姉小路聰子御名代
太田源二	迹見重威	佐々木昇	高林宗勝
			惣供

右之通候也。早速御仰書、三条家、石山家え御めニかけ候也。此夕、巴女来候。一宿ス。

*御行例（御行列）

（三月） 三十日 晴。

稽古日。三村知賀女、風早愛子、山田花屋来。谷中山形来。留主中故、金子百両用意致し持参候故、御貸申とて持参致し候へとも、相断候也。中々心切不浅、悦候。巴女、此夜も一泊ス。幸女来。

(三月) 三十一日 晴。

朝、飯尾兼敬来、子供二人連帰り候也。渡辺楽之助来。金子五両貸候也。愛治郎より也。

*飯尾兼敬(飯尾包敬)

(四月)

四月一日 晴。

半日**教授**ス。此日夕、千よ姫さま成らせられ候。馬場氏、欧州え再行ニ付、集会御誘ニ成らせられ候。よし姫さま、花蹊、参る約束いたし候也。此日夕、光田四郎兄太郎来ル。段々殿様よりの御しんせつ大悦くくく也。独乙殿様より光田え送りの品物、清水谷さまえ御託しの処、于今着不致、日々病人光田待暮らし居り候故、右品物の事頼みに来り候。

*教授(教授)

(四月) 二日 晴。此日、向島花盛也。

朝七時前、地震ス。此日、休業。又ちよ姫さま成らせられ候。

(四月) 三日 雨、晴。

神武天皇祭日。天下休業。此日、よし姫様御止メニテ千よ姫さま、花蹊同道ニテ万里さま迄行、午後三時ヨリ**小引町**買茶え行、此序ニテ馬場之集会、午後五時頃迄種々論説。此時、洋食之席に連ル男子五十人計、東伏見宮、同御簾中、裏松千よ姫さま、花蹊、外ニ馬場妹、甥、従弟五名也。洋食済テスヘーチ始ル。実に面白きく事也。夜十時、退坐。万里家ニテ一宿。

*小引町(木挽町) *スヘーチ(スピーチ)

(四月) 四日 晴。

朝六時、帰殿。半日**教授**ス。

*教授(教授)

(四月) 五日 晴。

画稽古日。桐渕式人、風早、細川、山田也。此日、父さまより、住吉重威より書状来。重威、水島、外二花園免職相成候よし。此事件ハ全く山本之策ニテ実に奸物可恐也。

(四月) 六日 小雨。

此朝、長子さま、井上頼国え行れ右住吉一件如何事哉尋ねられ候へ共、井氏病中ニは候へども、又々穿鑿可仕様申居られ候也。此日、早昼飯して谷中山形え行。よし姫さま、桃さま、中山さま、伴姫さま、花蹊、山形友治郎、愛治郎、華也。皆々美しくして連行候。実に間静住居ニて、うら山しく候。筆草夥しく、雨度々降候得共、筆草一反風呂敷一はい持帰り候。此夕、光田四郎死去之届来ル。

*間静 (閑静)

(四月) 七日 風。

此日、細川政女来候て庭の桜見いたし度故、私、長子さま招かれ候。四時より行。土州佐々木副議長、薩州本田、トチギ県太田、江州北川、吉村、橋詰也。酒肴、書画、実に面白キ事也。此日、山田来ル。此日、住吉典より文来、免職之情実聞正しくれ様申来り候。

*トチギ県 (栃木県) *正しくれ (質しくれ)

(四月) 八日

此日、千世さま、渡辺先生え行れ、相願込候。

(四月) 九日

此日、渡辺さま御出ニテ教部省ニテ聞出され候処、教正之方ニ住江大宮司ヨリ書面有之、少宮司祢宜、権ヲ專にして大宮司ナイガシロニいたし候よし申立、一社の為よろしからず候ゆへ、免職いたしくれ候様の書状也。夫ゆへ早々右の次第、此夜申遣し候。

(四月) 十日 晴。

稽古日。桐渕二人、風早、三村、細川、山田也。水野真澄、山形治郎兵衛、重吉来ル。渡辺先生来られ本省ニテくわしく事実相正し候処、全く会計金取込の様子也。夫故、又早々住吉え右の次第申遣し候。板倉勝達家従来、板倉信子妹、入塾頼来り候。

*正し(質し)

(四月) 十一日 晴。
朝ヨリ、終日外務御用画揮毫。土州吉村、細川、田中誠太郎、飯尾母、子供二人送來り候。かね母來ル。

(四月) 十二日

半日揮毫ス。良様、千尋ね成らせられ候。榊原はん女入門ス。支那人王暢齋來。此夕、水道橋鱸店へ行。山田時章來。

*千尋ね(千尋え)

(四月) 十三日 晴。

半日揮毫。朝倉松齋画頼みに來り候。蒲生來。

(四月) 十四日 晴。

外務画出來候。飯尾母娘同道ニテ來り候。午後六時前頃より良姫さま、花蹊、愛治郎、山中同道ニテ音羽觀音へ行。実ニ桜花満開、静ニシテ東京ニは珍らしき地也。掃除人ニ頼み、桜の枝五六本もらい乗車シテ帰り懸、

春風もしはしな吹そ家つとに折し桜の花にいとほん

と口すさひたり。

*しはし(暫し) *いとほん(厭はん)

(四月) 十五日 晴日。

風早愛子來られ候て稽古ス。終日、外務画揮毫ス。

(四月) 十六日 晴。

田中誠太郎來。吉村、又細川來られ候。此日、坊城さま御入門也。

(四月) 十七日

稽古。万里さま、三村へ行。

(四月) 十八日

(コノ日、記事ナシ)

(四月) 十九日

(コノ日、記事ナシ)

(四月) 廿日

風早、桐渕二人来。此日、細川広与老母周甲祝ニテ、千、花招かれ候、四時より十時迄。扇明亭来候。

(四月) 廿一日

朝、香川景信来、画頼候。金五円請取。

(四月) 廿二日

良姫様、千尋え成らせられ候。花、万里さまへ行。此朝、花脚氣ニテ遠田へ行、臥、養生ニかゝる。

(四月) 廿三日 大風。

(コノ日、記事ナシ)

(四月) 廿四日 大風、夜雷鳴。

(コノ日、記事ナシ)

(四月) 廿五日

午後四日、大坂より報知在、神戸より蒸氣よし申来、一同驚、早速廻船問屋え探索二人遣し候所、五時父様、典、帰殿致され、大無事也。

*四日(四時)

(四月) 廿六日

此日、水島梅園酒宴祝いたし候、夜二時迄。遠田、北家内来。

(四月) 廿七日

太田蓮さま、堺屋え文出ス。

(四月) 廿八日

蒲生来。木津願泉寺より文来、即返事スル。

(四月) 廿九日

福田照女、高橋母、中島哥子、水島、渡辺光生、宮比講中来。此日、大坂井上、式百五円請取書文差出し候。千よさま、山田え行れ候。

(四月) 三十日

桐渕二人来。正親町松永永年、本多家令、板倉家扶山田富。

(五月)

五月一日

朝ヨリよし姫様、父さま、千よさま、典、中島座え行れ候。典、振舞也。

(五月) 二日

(コノ日、記事ナシ)

(五月) 三日

(コノ日、記事ナシ)

(五月) 四日

此夜、山田時章来られ候。此日も千よさま、三条家え行れ候。

(五月) 五日

休業ス。清泰院様五十日御祭典行せられ候。三条家始、外御親族えかちん、御遺物送られ候。花蹊、花山つれて遠田え行、音羽観音え行。

此日も千よさま、三条家え行かれ候。

(五月) 六日

寿良様、父さま、千よさま、浅草寺え大般若修行、殿様御機嫌御祈祷のため参詣致され候。大坂井上手代、外二下勇来。王暢齋来。水島梅園来。

(五月) 七日 雨。

此日、久家ちか子入門ス。

(五月) 八日 夕立、雷鳴ス。

山田時章来。原田、永井家令安達来。此夕、千よさま、花蹊、山田え行、夜十時帰ル。

(五月) 九日 晴。

休業。殿様、良様、花蹊、誕生日故、石山さま御客、外二伶人大野久康、同社弟、林、右三人来、奏楽ス、夕十二時迄。大はつみ也。

*大野久康(多野久康) *社弟(舎弟) *大はつみ(大弾み)

(五月) 十日 晴。

風早、桐渕式人、三村、山田富女来。此日、御浜行愈十二と治定いたし候。此夕、石山家え行。昨夜之伶人招かれ、千よ滝、花蹊、幸行、夜十二時迄。

(五月) 十一日 晴。

御浜行、大こしらへ也。午後五時、万里小路様より御使来、俄に皇后宮、清観院宮様、御浜行

啓二付、御断申来候故、早々廻文にて生徒一統え相断候也。此夜、大々さわき、子達大泣也。此日、松岡来。長谷川十右衛門使来。

*こしらへ(拵へ) *さわき(騒ぎ)

(五月) 十二日 晴。

此日、父さま、万里さまえ行れ候。愈十三日、御浜行治定也。

(五月) 十三日 曇。

朝八時、出門。御浜行。御小休、銀座福田ニテ茶、寿もし出。生徒不残振袖袴、実に立派ニテ道すから人作山。十時頃、浜殿着。御庭の景色、殊の外絶景ニテ松の御茶屋ニテ御昼弁当也。五時迄遊ぶ。夫より又帰り懸、福田え寄、弁当つかふ。暫時して七時、帰宅候也。九時頃より雨降出、極上々首尾也。

(五月) 十四日 大雨。

此日、**教授有**。

*教授(教授)

(五月) 十五日

稽古日。風早、桐渕、山田富女来。三村ちか女来。

(五月) 十六日

朝、香川景信来。晴湖之画渡ス。

(五月) 十七日

(コノ日、記事ナシ)

(五月) 十八日

(コノ日、記事ナシ)

(五月) 十九日

(コノ日、記事ナシ)

(五月) 二十日 雨。

此日、細川政子来。後藤象次郎娘式人入学頼来られ候。
永井義子、安達礪子入門ス。

(五月) 廿一日 晴。

清烈院殿御正忌祭典大祭行せられ候。良子様、斎主**秋主**神饌献撒。良子様、ちよさま、万里さま、中山さま、花山、熊江、小河かね、知か、花蹊、長子也。奏楽、**大野**、安部、林三人也。祭典五字解ル。裏松ちよ姫さま、御出也。楽人六時帰り、ちよ姫さま十時御帰殿也。此日、三条家より使来。ちよ滝、石山家え行候也。濃州遠藤重兵衛来。子息同道也。御祭典拝見ス。

*拔主(秋主) *大野(多)

(五月) 二十二日 晴、雨、雷鳴。

三時頃より花、長子同車ニテ**堀止**辺迄買物二行、五時過帰り候。此日、後藤象次郎使来、娘入塾頼来り候。

*堀止(堀留)

(五月) 二十三日

此日、**大野久康**来。榊園来。蒲生来。夕、山田時章来。

*大野久康(多久康)

(五月) 廿四日 晴。

此日十一時、山形治郎兵衛来。ちよ滝、山田え行。父さま、はる、小きん、麻布辺ニ歩行致され候。

(五月) 廿五日

画稽古日。風早、三村、山田、細川来。

(五月) 廿六日 晴。

朝六字より芝金杉行。よし姫さま、ちよ姫さま、父さま、千よさま、花蹊、愛治郎、長子、幸也。夕六時、帰殿。ちよ姫さま、十時頃御帰り也。此日、桐渕秋、登女来られ候。

(五月) 廿七日

午後三時、万里家え稽古二行。三村氏えも行。

(五月) 廿八日

(コノ日、記事ナシ)

(五月) 廿九日

(コノ日、記事ナシ)

(五月) 三十日

画稽古日。桐渕三人、風早、三村、山田也。

(五月) 三十一日

(コノ日、記事ナシ)

(六月)

六月一日

蒲生春桂入門ス。

(六月) 二日

午後三時頃より万里家稽古二行。

(六月) 三日

(コノ日、記事ナシ)

(六月) 四日

(コノ日、記事ナシ)

(六月) 五日

画稽古日。桐渕三人、三村、風早、山田也。

(六月) 六日

此日、中山さま御内え御帰り也。

(六月) 七日

此朝、中山さま帰塾遊し候。此日午後二字、万里家へ行。

(六月) 八日

午後四時、蒲生来。

(六月) 九日

山田時章来。入梅。

(六月) 十日 晴。

須田弘、風早子息之女忒人入門頼来り候。大野久康来。此日、水道橋え地所見二行候。

*大野久康(多久康)

(六月) 十一日

父さま、はる、吟、堀切え行れ候。

(六月) 十二日 晴。

此日、大坂井上え金子之義二付、書状出ス。夕、山田時章来。此日、後藤荷物来。

*義(儀)

(六月) 十三日 風、雨。

此日、山形治郎兵衛、大工元吉、蒲生来。高縄後藤象治郎家内始、梢、真澄二女入門、入塾ス。

*高縄(高輪)

(六月) 十四日 晴。

朝、長谷川十右衛門来。三条様御文使来、来ル十七日皇后宮三条家え成らせられ候二付、花蹊
えは御側え出候人故、御慰ニ参りくれられ候由、御頼み也。北心海来られ候て、篤弘連帰り候。
長谷川、夕景来ル。父さま、夕景、大野久康方え行れ候。愛治郎、渡辺様え行。千よさま、山
田え行れ候。

*大野久康(多久康)

(六月) 十五日 雨。

風早義丸、純子兩人入門致され候。石山家弘来り候。桐渕三人、風早愛子、山田花厓来。長谷
川十右衛門、島村画頼みに来り候。

(六月) 十六日

休日。山田、山形治郎兵衛、大野久康、正親町春香さま、御遊ニ御出也。梅園来ル。

*大野久康(多久康)

(六月) 十七日 小雨。

朝ヨリ三条家え行、早々扇子甘本、絹地大堅物二本認。午後三時、皇后宮成らせられ候。紅梅
典侍、牡丹内侍、其外官女大せい、万里小路太輔さま、三条西、渡忠秋供奉也。花蹊、御前ニ
テ席書画ス。大ゐに御意ニかなぬ、御讚等も御出来やら、夜ニ入候。九時、御還行也。暫して
花蹊も引取候。細川峰君様も成らせられ候。御供梅の、初岡也。

*万里小路太輔さま(萬里小路大輔さま) *御還行(御還啓)

(六月) 十八日 炎暑、晴。

高野雪嶺ヨリ画頼みに来り候。梅園、明十九日大和三わえ発足之暇乞ニ来り、山形治郎兵衛布
氈持参ス。扇面亭吉造画頼みに来り候。山田時章来。

*大和三わ(大和三輪) *扇面亭(扇明亭)

(六月) 十九日

此日、中猿楽町十三番地地所買得いたし候。地主山口県天野御民卜申人也。地坪三百七拾七坪
余、価五百円也。此後、多忙ニテ不記。

(六月二十日～三十日、日記ナシ)

(七月)

(七月一日～九日、日記ナシ)

七月十日

中猿楽町十三番地地券状請取候也。金五百円、天野氏え相渡し候也。

(七月十一日～三十一日、日記ナシ)

(八月)

(八月一日～十三日、日記ナシ)

八月十四日

塾棟上ル。

(八月十五日〜三十一日、日記ナシ)

(九月)

九月一日

終日、宗家絹本二幅対嵐山揮毫ス。此日、武者小路母子入門致され候。遠藤重平来ル。渡辺源左衛門来ル。

(九月) 二日

永井家より頼みの額面揮毫ス。開成学校長浜尾新来ル。

(九月) 三日

此日、山田富女、典、出立の暇乞ニ来られ候。堀弘も伊勢行ニ付、暇乞ニ来られ候。長谷川久徴来り候。此日、住居棟上ル。福田照女来ル。此日、よし姫さま、万里さまより御誘□(虫損)ニ付、浜離宮へ成らせられ候。

此朝、万里通房様成らせられ候。

(九月) 四日 雨。

朝、典出立致され候。同行、井上孝也。蒸気船のつもり也。此朝、長谷川久徴、鉄女病氣ニ付、連帰り候。三条西様より使来ル。

(九月) 五日 晴。

稽古日。桐淵三人、風早愛子、まる女来ル。此夜、三条西奥方成らせられ候て、土御門さまの御事、段々御頼遊し候。山田来。

(九月) 六日

放棄。朝より揮毫ス。宗家、画嵐山、高雄二幅落製ス。此日、錦小路家女中、夕顔典侍さまより御使として来。夕顔典侍さま、早蕨典侍さま、芙蓉内侍、杜若内侍、玉椿内侍さまより読書

御頼みニ付、承知いたし候。此夕、典より電報来ル。六日朝八時、大坂着のよし申来り候。先々安心く也。此日、千よさま、沢家え無沙汰廻りニ行、帰り、早々武蔵屋え花同道ニて行候。

(九月) 七日 雨。

此日午後二時より万里家え稽古ニ上り候。通り風月堂え菓子あつらへに行、福田え一寸寄。此日、又錦小路さまより御使来、御所大御満足ニテ一日も早く上りくれ様ニテ、明八日(虫損)参内の約定いたし置候也。宗家画取に来り候。此日、仲居きよ奉公ニ取定ル。此夕、元吉え金子五百円渡ス。

(九月八日) 三十日、日記ナシ)

(十月)

(十月一日) 三十一日、日記ナシ)

(十一月)

(十一月一日) 三十日、日記ナシ)

(十二月)

(十二月一日) 三十一日、日記ナシ)